

中間教会を訪問しました

3月18日(日)は中間教会におじゃましました。主日午後の開催にもかかわらず、11教会から53名の参加がありました。安部寅彦牧師のご健康が守られて、会の始めから終わりまで参加することができたことは、何よりの喜びとなりました。

奨励では、安部牧師が折尾教会の坂本国雄牧師(当時)から推薦されて中間教会に仕えることになったこと。以来50年にわたって、お連れ合いの照子姉とともに5人のお子さんを育て上げたこと。「恐れるな、語り続けなさい」というみ言葉に支えられながら、今なお、主の一方的な憐れみによって生かされていること。中間教会の過去・現在・未来をご家族も驚くほどの力強さで語っていただきました。

姿が見えなくなるまで見送ってくださった中間教会の皆様、本当にありがとうございました。



編集後記

4月1日のイースター礼拝は富野教会に出席しました。ふと掲示板を見ると、み言葉に目が留まりました。この春から富野教会、東八幡教会、南小倉教会への伴走支援が始まりました。共に、主に向かって新しい歌を歌いたい。思いがけず励ましの言葉をいただくことができました。(齊藤弘司)



次回予告

巻頭言 松藤一作連盟宣教部長(予定)
教会おじゃましますの振り返り

4月下旬～5月の予定

- 4月28日(土)連合年次総会(シオン山)
- 28日(土)連合教会教育委員会(シオン山)
- 30日(月)連合青年会交流会(八幡)
- 5月17日(木)連合役員会(シオン山)18時半
- 19日(土)連合伝道委員会(シオン山)13時
- 27日(日)センター運営委員会(シオン山)15時半
- 31日(木)センター常任委員会(東八幡)12時

宣教支援センターHP&Facebook

ニュースレターのバックナンバーを閲覧するにはパスワードが必要です。
HP : <http://bapkitaq.jimdo.com>
パスワード : kitag2015



連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 27号



発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2018年4月28日



宣教支援センター4年目を迎えて
ご高齢の方を喜ぶ教会になるために
教会おじゃまします 中間教会

写真：「おじゃまします中間教会」
(3/8 中間教会)



支え合い、主のみ体なる教会に仕える

連合牧師会幹事 佐藤清一(苅田)

この度、連合牧師会について、宣教支援センターニュースの紙面で紹介させていただける機会が与えられました。感謝しています。

連合牧師会は、北九州地方連合に属する28の教会の牧師、協働牧師(以後は“牧師”)で構成されています。牧師会では、牧師とその配偶者、そしてご家族が元気に教会に仕え、主の御体なる教会の形成に励むことが出来るように、研修、研鑽、リクリエーションなどさまざまなプログラムを計画しています。

昨年度行われた活動を具体的にご紹介したいと思います。6月28日には第一回目の牧師会、カリス会を行いました。場所は苅田教会です。14教会から27名の牧師とそのお連れ合い、そしてご家族が集いました。それぞれの教会の状況を分かち合い、祈りの課題を共有して祈り合い、活動について話し合いました。そこでは、別府国際教会に就任された酒井朋宏牧師と防府教会に主事として迎えられた山時松江氏の歓迎会を行いました。8月28日には、「源じいの森」で、第二回牧師会、カリス会と牧師家族退修会(ファミリーキャンプ)を行いました。午前中の牧師会、カリス会では、礼拝を捧げ、祈りの課題を共有しました。午後は、子どもたちと共にスイカ割りを楽しみ、俳句大会を開催。名句?が生まれたとのこと(わたしは都合で参加できませんでしたが、幹事の一人、山本龍一郎先生が教えてくださいました)。2018年2月19日には小倉教会で第三回牧師会、カリス会を行いました。11教会から27名の参加者がありました。特に、退会される若松教会の鬼塚諫牧師、文美子姉の歓送会を行いました。長い間のお働きに感謝し、これからの歩みに豊かな祝福がありますように、祈りました。2018年度も、互いの研鑽とリフレッシュを願って活動して行きます。



牧師家族退修会(ファミリーキャンプ)

宣教支援センター4年目を迎えて

2017年度は、宣教支援センター活動開始1～2年目の開拓期に続いて、前期後半の成長期(3～4年目)に入り、活動の進展が求められた一年でしたが、相当の活動の展開を成すことが出来たことを感謝しています。宣教支援センター開所以来、センターサポート教会として祈りを合わせ、教会挙げて活動の推進に協力してくださっている東八幡教会の皆様方に、心から感謝しています。

2017年度の取り組みは、連合諸教会に向けて、宣教支援センターを活用しての“教会を変えてゆく”取り組み、起こしを呼びかけ、プロモートしてきた一年でありました。

①教会元気プラン推進教会への伴走支援 南小倉教会

教会の信仰告白見直しで掲げた「みんなの教会」という言葉が、教会を変えつつあります。

②第2回バプテスト地方連合まつりの開催(186名)

テーマ「伝道するぞ！」奥田知志牧師の主題講演、北九連マルシェ、子どもプログラム。

③教会の自己診断スケール「基礎編」の活用促進

防府、直方、大分、富野、南小倉の各教会で研修会開催。シオン山教会等が活用。

④教会おじゃましますプロジェクトの推進(伝道委員会と共催)

2016年1月の光教会に始まり、27教会を訪問することができました。

⑤連合の機構改革の取り組みへの協力

委員会のサポート教会制度がスタート。連合規約改正の準備に当たりました。

⑥その他

東京北教会の魯孝錬牧師をお招きして、地域協働の立ち上げについて共に学びました。

尚、会計決算では「宣教支援センター」協力献金の予算が180口216万円であったのに対し、16口上回る196口246万円の実績となり、後期4年のプロジェクトの継続に関して明るい見通しが立ったことを喜びました。8年がかりで個々の教会と地方連合の強化の実現を期し、更に宣教支援センターの働きを充実させて行かなければと考えています。(運営委員長 山田雄次)



バプテスト大会



枝光防府合同研修



富野教会もちつき



教会おじゃまします 下関教会

連載 ご高齢の方を喜ぶ教会になるために(1)



1月21日(日)にシオン山教会で行われた第3回宣教支援センター運営委員会の中で、ひさしぶりにワールドカフェ形式の対話プログラムを行いました。

テーマは「教会員の高齢化は問題なのか?」。6つのグループが記録して下さった模造紙の言葉の中には、ご高齢の方を喜ぶ教会になるための手がかりがたくさん詰まっていた。今号から3回にわたってご紹介したいと思います。今回はセッション1です。

◆セッション1 教会でよく耳にするご高齢の皆さんのつぶやきを集めてみよう。

教会でしばしば耳にするご高齢の皆さんのつぶやきを拾い集めるところから対話を始めました。

「教会でよく耳にするご高齢の皆さんのつぶやき」を思いつくままに挙げてください。

- ・文章を読む気力が続かない
- ・役員(執事)を下りたい
- ・忘れ物が多くなった
- ・聞いとらん(=聞いていない)
- ・知らなかった
- ・足腰が痛い
- ・すみません
- ・若い人とは話が合わない
- ・敬老礼拝のプレゼントは要らない
- ・字が小さくて見えない
- ・送迎がないと不安
- ・教会が忙し過ぎる
- ・奉仕ができなくて申し訳ない
- ・暑い(もしくは)寒い
- ・昔は良かった
- ・教会内の移動が大変
- ・一度決めたことを忘れてしまう
- ・会議が長い
- ・献金したいけど十分にできない
- ・掲示物が読めない
- ・これで最後の・・・を繰り返す
- ・車の運転ができない
- ・礼拝の主の祈りが速くてついていけない



◆セッション2 つぶやきの背後に、ご高齢の皆さんのどんな気持ちがあるか想像してみましょう。セッション2の様子は次号でご紹介します。皆さんの教会で話題にしていただけると嬉しいです。